

「ゼロ」からの挑戦 ～7月からの取り組みの歩み～



社会福祉法人白寿会 特別養護老人ホーム 白川園

これまでの白川園

施設はリニューアルしたが…

痛い！
きつい！！
動きたくないよー！

重い！
腰が痛い！！
介護の仕事は大変だー！

移乗介助はすべて
「抱え上げ」

抱え上げ以外の
介助方法を知らない

使用できる
福祉用具が足りない

保有している
福祉用具を使っていない

福祉用具の使い方を
知らない

このままでは長く働けない！
利用者様、職員双方にやさしい
職場環境づくりが課題に！



白川園の概要

特別養護老人ホーム 白川園

入所定員：66名
(特養50名+ショート16名)
入所者数：特養48名+ショート13名
(R7.12.22現在)
平均介護度：3.40
介護職員数：26名 (内、非常勤6名)
男性7名、女性19名
平均年齢：48.87歳



職員の高齢化が懸念…

令和6年6月2日、特養を苅田町白川地区から与原地区に移転。
バリアフリー、全床に眠りスキャン設置。
認知症カフェを併設、認知症伴走型支援事業を展開。



ノーリフティングケアの取り組みを宣言

7/21
ノーリフティングケアのポスターを作成、掲示



職員、利用者、ご家族、すべての人が見られるように掲示

7/27
現場職員にノーリフティングケアの取り組み開始を宣言



ノーリフティングケアについて、
まずは「知ってもらう」ことから開始！



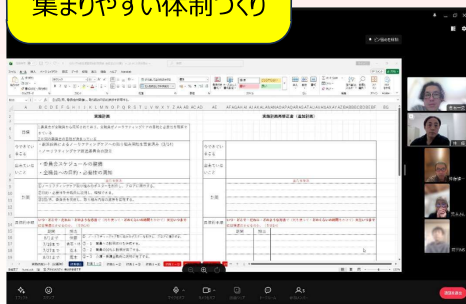
テキストを参考に、当園で研修資料を作成



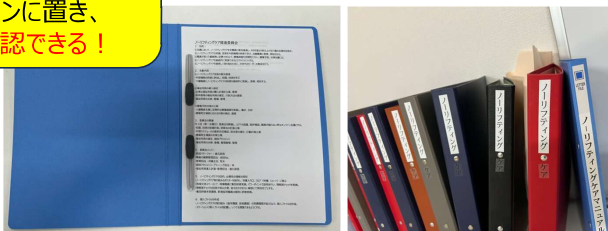
委員会の立ち上げ、取り組み

当園の委員会メンバー
 統括マネージャー：介護部長兼生活相談員
 健康管理：看護師
 教育：介護主任、介護福祉士 計2名
 プランニング：介護支援専門員
 福祉用具：介護部長兼生活相談員

月1回、委員会開催。
 オンライン会議で
 集まりやすい体制づくり



マネジメント研修で取り組んだことを
 マニュアル化
 ファイルをステーションに置き、
 いつでも、誰でも確認できる！



リスクマネジメントの取り組み

7/27の特養ケアミーティングにて
 腰痛リスク場面のアンケートを実施。

腰痛リスクの高い
 業務

抱え上げ介助

オムツ交換

入浴介助

重い物の運搬

福祉用具がなくてもできる
 ことから始めよう！

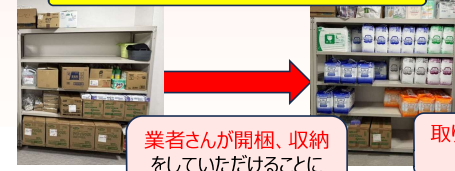
先輩施設の取り組みを参考に改善



重いゴミをカゴ台車に乗せるのは負担大！

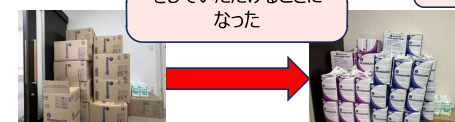
楽に乗せ、楽に運搬！

生産性向上に繋がった改善事例



業者さんが開梱、収納
 をしていただけること
 になった

取り出しやすい高さに
 収納！



段ボールを持ち上げ、
 開梱していた

すぐ持ち出せる！



健康管理の取り組み

腰痛調査



腰痛調査を定期実施（6月、12月）
 12月分は二次元コードで回答できるよう実施。
 調査、集計が短時間でできた！

腰痛状況の把握



腰痛調査の結果を
 もとに可視化
 名前のマグネットを貼り、
 状態が変わったら、
 職員各自で動かす

これだけ体操



利用者トイレ

浴室脱衣所

職員トイレ



職員一人一人が、腰痛について
 目を向けるようになった！

介助の負担が大きいトイレ、浴室脱衣所に、
 また職員トイレにポスターを掲示したが、
 自主的に体操には至らなかった。

ポスターを貼るだけでは効果なし。
 研修やミーティング時に体操を勧め、
 広めることが大事！



技術教育の取り組み

技術研修への参加 教育担当者が受講 6/26、8/21、9/18、10/28 の4日間



現場職員のやる気を引き出すために…

- ・専門用語を使わず、分かりやすく伝える
- ・できたことをほめる

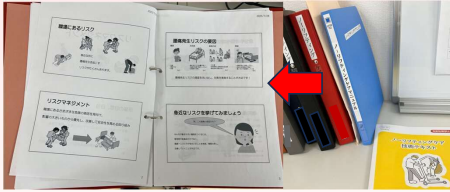
とアドバイスをいただく。



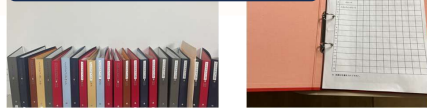
技術教育の取り組み

福祉用具導入計画

研修ファイルの作成



ステーションにファイルを収納



研修ファイルのメリット

- ①いつでも研修資料をチェックできる！
- ②いつでも技術動画を視聴できる！
- ③研修の受講履歴が分かる！

現場職員への教育指導 11/7、11/13で実施

①動画をみておさい



③みんなでやってみた



②手技の実演



④個別指導

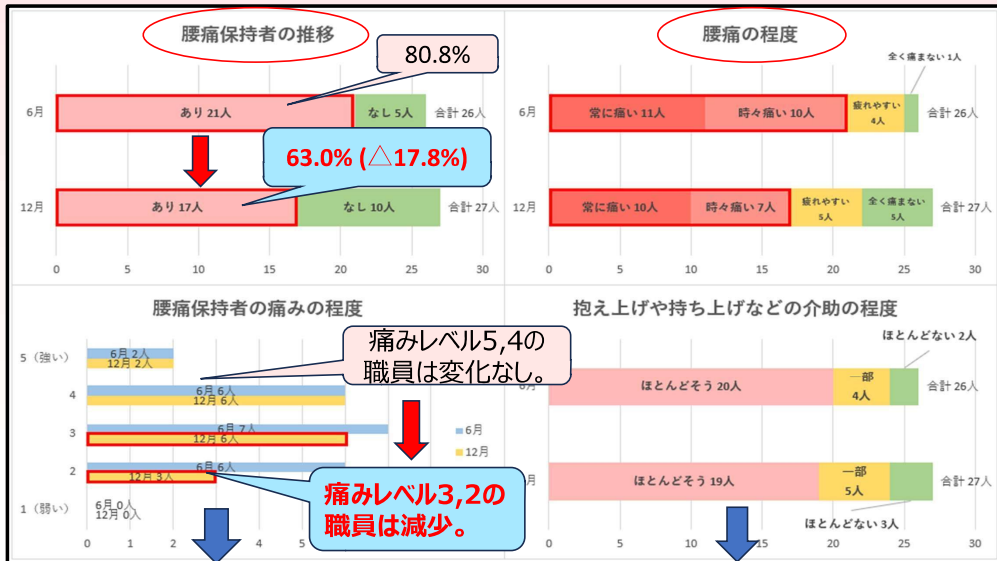


<研修項目>
 身体の使い方
 寝返り介助
 起き上がり介助
 座り直し介助
 立ち上がり介助

説明の伝え漏れがあり、
 またうまく説明できないこともあった。
 指導も反復練習が必要！



腰痛調査の結果（6月、12月の比較）



ノーリフティングケアの実践やセルフケアにより腰痛中度～軽度の職員が改善

しかし、福祉用具がほとんど活用できておらず、日常的に抱え上げ介助が行われている為、強い痛みを訴える職員は減っていない。



事業参加前

- 白川園福祉用具事情（未使用）
ラクラックス 1 枚、イージーモーション 1 枚
- R7.6月～ノーリフティングケア普及促進事業参加（6期生）



R7.7月～8月

- 介護ロボットデモ実施
サスケ、SOEL、サラスティコンパクト、Hug、移座えもんボード
- R7.8月福岡県介護DX支援事業補助金申請 **理事長承認**

福祉用具購入決定！！

R8.1月～2月

- SOEL 1 台、Hug(防水) 1 台 納品予定 (DX補助金受理)
- つばさ 2 枚、移座えもんグローブ 5 双、
- 移座えもんシートML 2 枚/L 1 枚



1 年目 ノーリフティングケア 取り組みの総括

<ノーリフティングケアに取り組んで良かったこと>

- ノーリフティングケアを**実践する土台**ができた
- 現場と一緒に、**働きやすい職場づくり**を実践できた
- 現場が**腰痛について目を向ける**ようになった
- 福祉用具導入の目途**が立った

<今年度の取り組みでできなかったこと>

- 福祉用具が揃わず、福祉用具ケアが**実践できなかった**
- 現場への福祉用具ケアの**実技指導**

<来年度に向けた課題>

- 福祉用具ケアの**実技指導、実践**
- 更なる福祉用具の**拡充**
- 腰痛リスク場面の**改善活動の継続**

これからは大事
 職員みんなで頑張ります！

